

ニイニイゼミ

梅雨時期からほかのセミに先駆けて鳴き始める小さなセミです。メスは枯れ木や枯れ草に卵を産みますが、ほかのセミの多くが孵化^ふ化まで1年近くかかるのに対し、本種は40日ほどで孵化します。生まれた幼虫は約3年を土の中で過ごし、季節のタイミングをみて地上に出ます。

ニイニイゼミという名前は鳴き声からついたという説があります。が、実際には「チーチー」という鳴き声に聞こえる気がします。人によって聞こえ方が異なりますので、皆さんもこの季節、耳を澄ましてセミの声を聞いてみてはいかがでしょうか。

